

IHE-Jワークショップin大阪
2005/01/22

の導入講座

病院におけるIHE導入の実際

IHE-J臨床企画委員会 奥 真也

東京大学22世紀医療センター健診情報学講座
埼玉医科大学総合医療センター放射線科



いやあ、ほんま、ええねえ～

I...H...E J!

いやあ、ほんま、ええねえ～、上等やわ!



北米放射線学会 (RSNA) と (米国) 病院管理システム学会 (HIMMS)
 がスポンサーとなって制定された「標準規約」



日本の医療機関における適合のための制定作業によるローカライズ版
 「標準規約」(経済産業省、日本画像システム工業会 (JIRA))

HELICS協議会 <http://www.helics.umin.ac.jp>

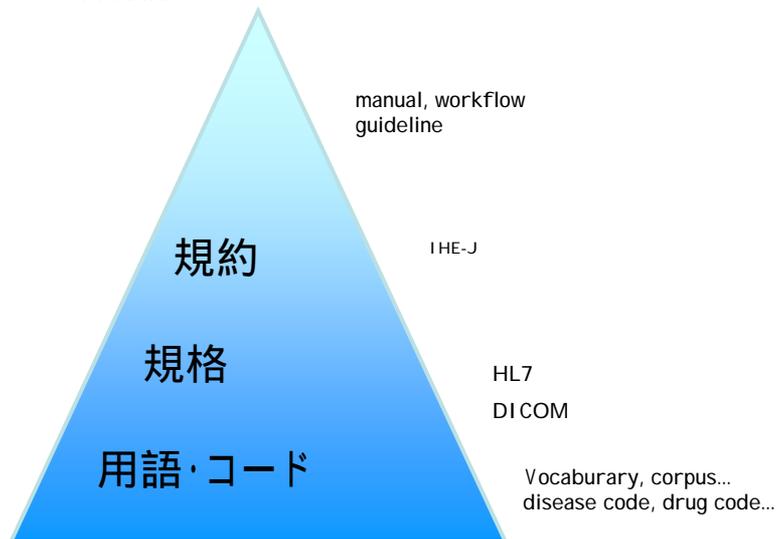
「医療情報標準化指針」提案申請・採択状況

申請受付 番号	提案規格名	状 況	申請日	採択日
001	標準医薬品マスター (通称HOT番号) (提出団体: (財)医療情報システム開発センター) HS001標準医薬品マスター(通称)HOT番号(PDFファイル)	採 択	2002/03/04	2003/05/23
002	JAHIS 臨床検査データ交換規約 Ver. 2.0 (提出団体: 保健医療福祉情報システム工業会) HS002JAHIS臨床検査データ交換規約Ver.2.0(PDFファイル)	採 択	2002/05/13	2003/07/ 30
003	JAHIS 臨床検査データ交換規約 <オンライン版> Ver. 2.0 (提出団体: 保健医療福祉情報システム工業会) HS003JAHIS臨床検査データ交換規約<オンライン版> Ver.2.0(PDFファイル)	採 択	2002/05/ 13	2003/07/ 30
004	DICOM規格 (提出団体: (社)日本画像医療システム工業会) HS004 DICOM規格(PDFファイル)	採 択	2003/02/1 9	2003/11/ 28
005	ICD10対応電子カルテ用標準病名マスター Ver. 2.30 (提出団体: (財)医療情報システム開発センター)	審 議 中	2004/06/1 6	

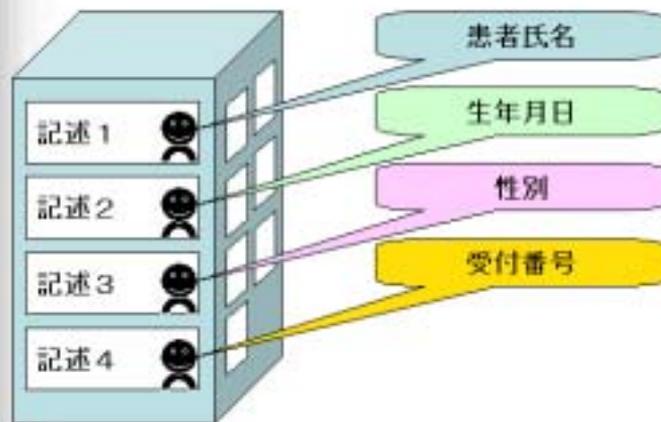
情報の標準化の二要素

- 1) 情報の形式の標準化
- 2) 情報の内容の標準化

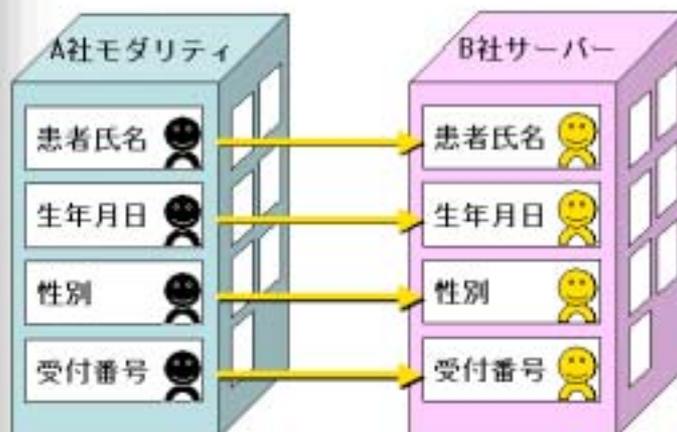
標準化の層別構造



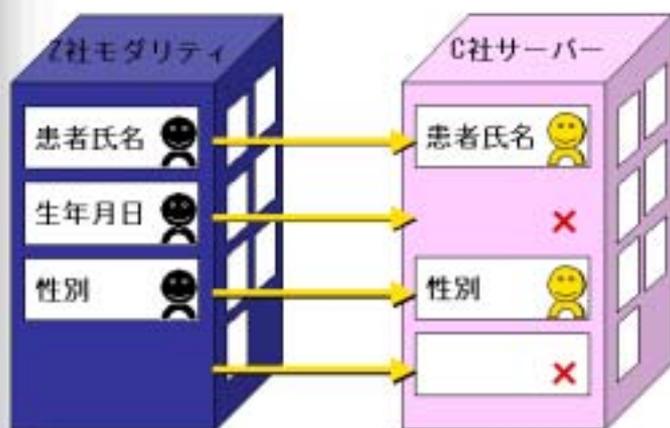
規格は器を用意するだけ（規格の限界）



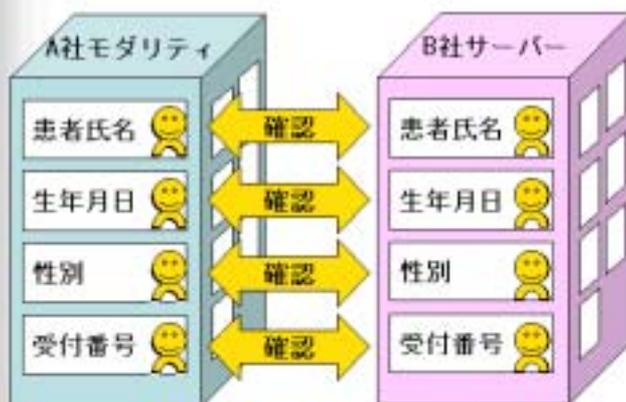
規格は器を用意するだけ（規格の限界）

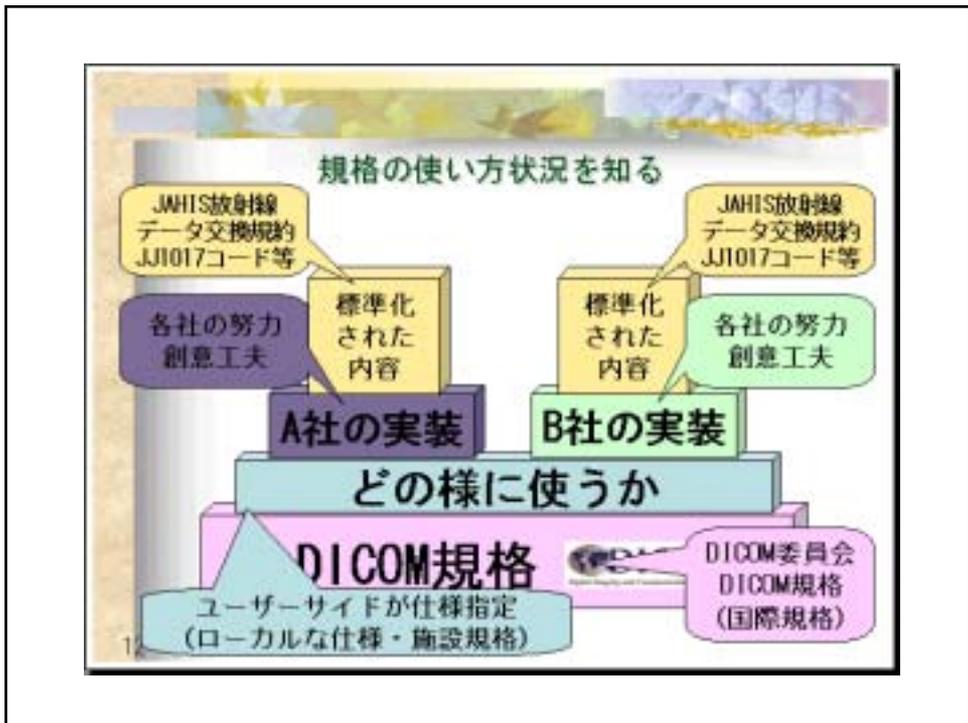


規格は器を用意するだけ（規格の限界）



規格は器を用意するだけ（規格の限界）





でも...



IHE-Jは**規約**だから**規格**(だけ)よりはマシとは云うけれど、

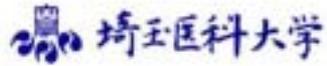
IHE-Jとは「ガイドライン」である
IHE-Jの「統合プロフィール」「スコープ」はすべての情報伝達を網羅していない

とも聞いたような...

ホントに大丈夫なの？
(システム導入者としての責任は果たせるの...?)

IHE-Jを用いた相互運用性に関する 放射線部門を題材としたショールーム型実証事業

2004/09 ~ 2005/3



- IHE-Jの手法を用いて、マルチベンダーシステム下の相互運用を実現した放射線システムとして、実際の臨床現場で稼働させると同時に、IHE-Jガイドラインの有用性を示す。

- 国内で初めてIHE-Jを用いて相互運用を実現した施設として、ショールーム様に見学者を積極的に受け入れ、相互運用性に興味を抱いた施設に対し、IHE-Jガイドラインの採用を促すことで、健全な情報システム市場の育成と、IHE-Jの普及に役立つことを旨とする。

ショールーム型IHE-J実証事業埼玉コンソーシアム



埼玉医大の実証事業のポイント

IHE-Jの普及促進

- ・実際の臨床現場における運用に十分対応可能な実例の提示
- ・問題点の洗い出しと解決方法の紹介

導入検討に弾み

リアルショウルーム

- ・実際に稼動しているシステムの様子を見学可能な環境構築
- ・見学者に対する説明小冊子の配布及び質疑応答

バーチャルショウルーム

- ・インターネットを利用したリアルショウルームに準じた見学
- ・説明小冊子のダウンロード

実在する国内初の成功例

容易に取得可能な情報

Success Story



しっかり頼むよ
...後が続くんだ
から...



さて、「IHE-Jでやる」ということはどういうこと？

基本は何がやりたいかがはっきりしていること

導入構想者 = 技術者である必要はない

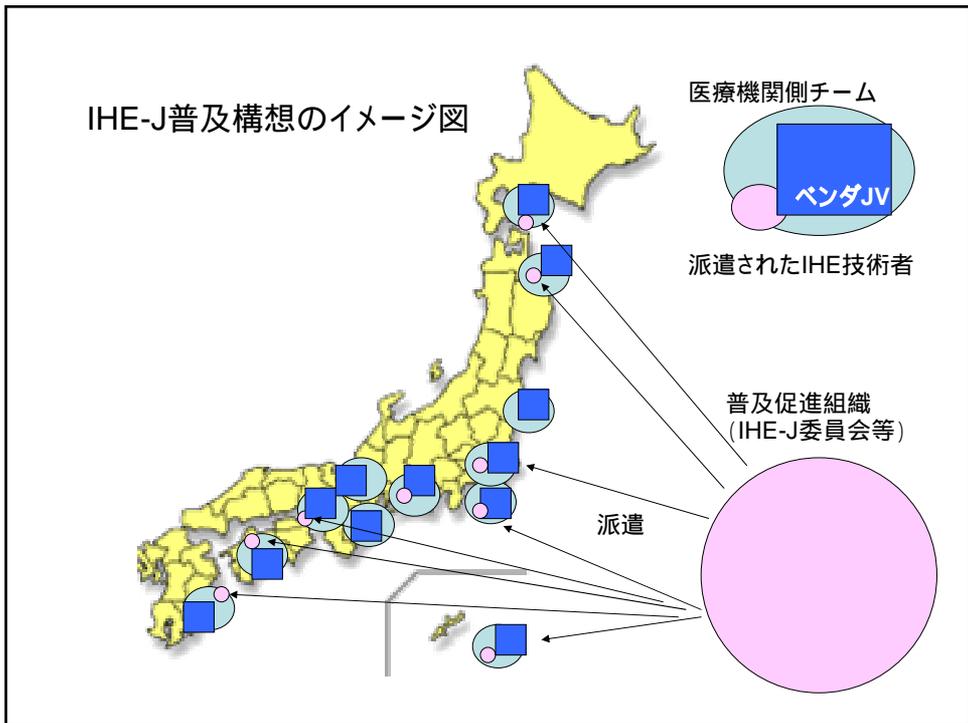
とは云え、IHE-J(の守備範囲)をよく理解する必要がある。

では、どうやってやる？

最初の一步は、RFP (Request for Proposal)

やる気のある施設ならばやれる枠組み(世の中の仕組み)を利用
【そうできるようにします】

まずはこのWSなどで根掘り葉掘り質問をする！



実際の導入におけるハードル

(政治篇)



現場 ローカルな機器ですすでに勝手に買ったものを入れたい...

経営者 IHE-Jはお金がかかるのでは？
確実に動かなければどうしてくれる？

電子カルテ、医療情報を「取り仕切る」部門
IHE-Jってどこのメーカー？(無知あるいは...)
IHE-Jは標準ではないのでは？
導入スケジュールが遅れるのでは？

実際の導入におけるハードル (技術篇)



ベンダ トランザクション等について踏み込んだ提案をしにくい。
主導的に動けると限らない
IHE-Jスコープについての見解

マルチベンダ スタンスの探りあい

* (本項については経済産業省事業報告を待たれたい)

本演題のまとめ

IHE-Jは、(部門)システム導入に際して、採用すべく検討してよい段階に来ている

まずはIHE-Jの実力・現在座標を見極めることが大切

IHE-Jの普及のための次のステップが重要で、ユーザ医療機関、各学会、IHE-J委員会、ベンダのトータルな協力関係が必要。